

8 働きがいも 経済成長も



どんな目標？

- 資源を守りながら経済成長を実現する
- すべての人が働きがいと十分な収入を得る

考えるためのキーワード

- 働き方改革
- ディーセント・ワーク
- 人手不足



働き方改革

Q: 最近、働き方改革が話題になっているね？

A: 「働き方改革」とは、少子高齢化により働き手となる年齢層の人口が減少していく中で、働く人々の事情に応じて多様で柔軟な働き方を選択できる環境や仕組みを整え、誰もが活躍できる社会の実現を目指す取組です。そのためには、女性や高齢者などを含めた働き手を増やす、少子化に歯止めをかける、情報通信技術 (ICT) を活用したテレワークなど労働生産性を向上させることが重要です。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 仕事か、家庭か、どちらかを選択せざるを得ないような社会では、女性の社会進出や出生率の向上を実現することはできません。企業にとっては、非正規雇用と正規雇用の格差を縮めることや雇用延長などで、まだ働ける層の人材を活用していくことなども課題です。働きがいのある仕事と生活するだけの十分な収入、そして働く人の権利を守る「ディーセント・ワーク」を実現していく必要があります。



非正規雇用労働者
2,187万人

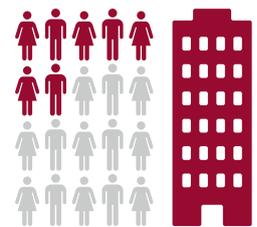
人手不足

Q: 人手が不足しているって聞いたけど？

A: 人口減少に伴い、企業、特に中小企業において人手が不足しています。人手不足から、赤字であるのに廃業し、これまで培ってきた貴重な技術が失われてしまうこともあります。また、人手不足は、1人の業務量が増え、長時間労働につながります。企業は人手不足を補うために、新技術を取り入れ単純労働などにAI(人工知能)を活用するなど、仕事の効率化を行い、生産性を上げていく必要があります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 人手不足の解消のためには、例えば、生活スタイルに合わせた柔軟な勤務形態や、性別・国籍にとらわれない人材の配置など、若者や女性、障害のある人、高齢者、外国人等が希望どおりに働くことができる環境を整え、誰もが社会の支え手として活躍する全員活躍社会を築く必要があります。



人手が不足していると
回答した企業

66.4%



考えよう!
やってみよう!

SDGsアクション

☑️ どんな時に働きがいを感じるか話し合ってみよう

☑️ 新技術が導入された職場を想像してみよう



目標8 愛知 ×SDGsアクション ファミフレネットあいち

愛知県ではワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業をファミリー・フレンドリー企業として登録し、広く紹介しています。また、働く人専用ページを設け情報提供を行っています。安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでみましょう。

● ホームページ: <https://famifure.pref.aichi.jp/index.php>



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



どんな目標？

- 持続可能な方法での産業の発展
- 技術革新(イノベーション)で新しい社会を創り出す

考えるためのキーワード

- AI ● イノベーション
- スタートアップ



AIと未来社会

Q: AIがつくる未来社会ってどんな社会なの？

A: AIやIoT(Internet of Things)などの最先端技術の急速な進展に伴い、ロボットと人との共生や、脳科学と情報科学の融合など、新しい価値やサービスにより人々に豊かさをもたらす未来社会「Society(ソサエティ)5.0」の実現が求められています。AIやIoTが様々な形で社会に組み込まれることで、生産性の向上のみならず、人口減少や高齢化など社会課題の解決にも役立つことが期待されています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 買い物難民を救うドローン宅配、介護ロボットや遠隔医療、ICTなど先端技術を活用したスマート農業、自動運転バスやトラックなどが普及することで、少子化による人手不足や過疎地域の問題を解決することができます。AIやIoTが広がっていくと、わたしたちの暮らしや働き方も変わっていく可能性があります。



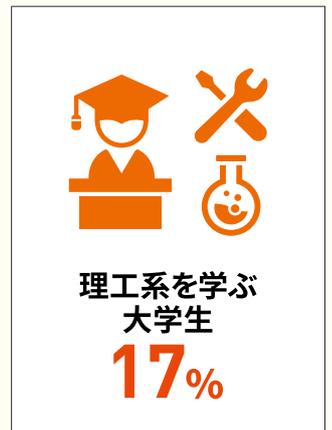
スタートアップ

Q: スタートアップってなに？

A: 「スタートアップ」とは、革新的なビジネスモデルに挑戦することで市場を開拓し、短期的に成長することを目指す事業者です。空飛ぶクルマ、自動運転など、スタートアップが中心となって進んでいるイノベーションは数多くあります。革新的ビジネスモデルや最先端技術を持つスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出が必要となっています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 今後、AIやロボット、ICTなどの技術革新の進展により、社会経済情勢はさらに大きく変化していくことが見込まれます。そうした先行きが見通せない時代においては、失敗をおそれず、挑戦する強い気持ちで、多様な主体と連携して、意見を交わしながら、次の社会を創造していく人材が求められています。そのためには、起業家精神を育てたり、科学技術の土台となる理数教育に力を入れるなど、イノベーションを生み出す人づくりが大切です。



考えよう！
やってみよう！

SDGsアクション

- ☑ インターネットで便利になったことについて考えてみよう
- ☑ 空飛ぶクルマが実現した社会を想像してみよう



目標9 愛知 ×SDGsアクション トヨタ産業技術記念館

トヨタグループ発祥の地に残されていた大正時代の工場を貴重な産業遺産として保存・活用し、繊維機械と自動車を中心とする産業技術の変遷やモノづくりの大切さを体験して学ぶことができます。

● ホームページ: <http://www.tcmitt.org/>



10 人や国の不平等をなくそう



どんな目標？

- 国と国の間にある不平等を減らす
- 同じ国の中にある不平等を減らす

考えるためのキーワード

- 外国人 ●地域格差
- 東京一極集中



外国人

Q: 日本に住む外国人は増えているよね？

A: 日本に住む外国人は2019年6月末現在で約283万人(愛知県は約27万人)となっており、10年前に比べ約70万人増えています。現在日本では、労働力が不足しており、2019年4月には外国人材を受け入れるための在留資格である「特定技能」が設けられるなど、今後さらに多くの外国人材が日本で働き、生活者として地域に住み続けることが見込まれます。一方で、日本語や生活マナーなどが十分に理解できていないため、ごみ出しや騒音など地域住民とのトラブルが増えている現状があります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 外国人の増加に伴い外国人と接する機会が多くなっており、地域によっては小学校の児童の約7割が外国人というところもあります。今後も外国人は増加すると見込まれるため、様々な国籍・民族の人たちが違いを認め合い、ともに安心して暮らし、活躍できる多文化共生社会を実現することが重要です。



地域格差

Q: 地域格差ってどんな格差のこと？

A: 「地域格差」とは、自治体間や都市と農村の間に生じる所得や教育、医療、サービスなどの格差のことです。例えば、県民1人あたり所得では、大都市と地方都市で2倍以上の開きがあるところがあります。人口減少が続く地域では、買い物や医療、サービス、公共交通やインフラなどの維持・管理を続けることが難しくなり、こうした地域格差が一層拡大するおそれがあります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 進学や就職の際の選択肢が多く有利であるとの理由で、若者の東京一極集中が続いています。そのため、地域では高齢化率が上昇し、家庭を持つ世帯が減少するなど、地域の活力が失われることが心配されています。持続可能な地域社会に向けて、国や地方自治体では地方創生や地域格差の解消など、地域の特色を生かした活性化策を講じていますが、都市部との地域格差の解消には十分ではありません。



考えよう！
やってみよう！

SDGsアクション

- ✓地域にいる外国人について考えてみよう
- ✓地方や地域社会の良いところを見つけてみよう



目標10 愛知 ×SDGsアクション 外国人県民早期適応研修カリキュラム

愛知県では、外国人材の受入企業等が、新たに来日した外国人の方に対し生活支援等として実施できるよう、日本の習慣やマナー、生活者としての日本語を習得するための「早期適応研修」のカリキュラム等を作成・公開しています。

●ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/soukitekouiocurriculum.html>



11 住み続けられるまちづくりを



どんな目標？

- ◎安全で、災害に強いまちや人々の住む場所をつくる

考えるためのキーワード

- ◎交通インフラ ◎レジリエント
- ◎防災・減災



持続可能な輸送システム

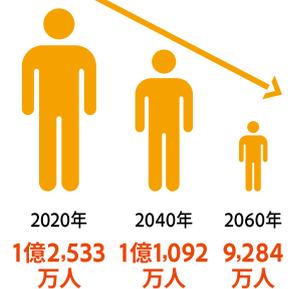
Q: 過疎地域のバスの本数が少なくなったけど？

A: 人口減少が進むことによって、山間地域や過疎地域で運行している鉄道やバスなどが、赤字や運転士・運転手不足により撤退しています。鉄道やバスがなくなった地域では、人口減少がさらに進みます。安心・快適な暮らしを支えていくためには、こうした悪循環を解消することが課題となっています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 最近、1台の車を複数の人が時間を変えて利用するカーシェアリングのサービスが広がっています。また、自動運転による無人の地域循環バスなど、近未来技術を活用した社会実装に向けた取組も進められています。こうした様々な制度や新たな技術等を組み合わせ、持続可能な輸送システムを構築していくことが重要です。

日本の人口推移予測



レジリエントなまちづくり

Q: レジリエントなまちづくりとは？

A: 「レジリエント」とは、抵抗力や回復力という意味です。「レジリエントなまち」とは、自然災害などが発生した場合に影響を最小限に留め、速やかに復旧・回復できるまちのことです。そのためには、避難計画の策定や建築物の耐震化などの被害が発生しないようにする「防災」のほか、災害が発生した時にその被害を最小限に食い止めるための「減災」の両方から取り組むことが大切です。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 近年、地震や台風などでこれまでの想定をはるかに超えた自然災害が起きています。施設やインフラは数十年に一度の災害にも耐えられるように整備されていますが、最後に命を救うのは自分の行動です。それぞれの家庭でも日頃から地域のハザードマップや避難所の位置を確認しておくことや、防災グッズを備え、災害時の集合場所や連絡方法を決めておくことが必要です。



防災拠点となる
公共施設等の耐震率
93.1%



考えよう！
やってみよう！

SDGsアクション

- ✔ 将来の移動手段がどうなっているのか想像してみよう
- ✔ 災害の際にどう行動すべきか確認してみよう



目標11 愛知 ×SDGsアクション 防災ワンストップ相談

あいち・なごや強靱化共創センターでは、県内の企業、市町村、自主防災組織、地域団体、学校の皆さんが、防災・減災に関して気軽に相談できる相談窓口を設置しています。

●ホームページ: <http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/consultation.html>



あいち・なごや
強靱化共創センター
AICHI-NAGOYA RESILIENCE CO-CREATION CENTER

12 つくる責任 つかう責任



どんな目標？

- 生産者の側も、消費者の側も、お互い責任を持つ

考えるためのキーワード

- 食品ロス ●エシカル消費
- フェアトレード



食品ロス

Q:日本はまだ食べられる食品を大量に捨てているって本当なの？

A: 売れ残りや食べ残しなどの理由で本来食べることができるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」は、日本国内で年間643万トンに上ります。1人あたりでは、お茶碗1杯分のごはんを毎日捨てていることとなります。食料自給率が低く、たくさん食料を輸入しているにもかかわらず、多くの食べられる食品を捨てています。さらに、水分を含んだごみは焼却の際に燃料を必要とする場合があります、地球温暖化を進めることにもつながります。

Q:わたしたちにはどう関係しているの？

A: 食品ロスを減らすためには、つくる側とつかう側の両方の取組が必要です。例えば、つくる側の取組としては、ケーキや恵方巻きなどの季節商品を予約制にして必要以上につくらないなどがあります。また、つかう側の取組として、買い物では食べる分だけ購入する、料理では食材を有効に使う、食べ残しをしないなどがあります。県民一人ひとりが毎日の生活において意識して食品ロスの削減に取り組むことが重要です。



エシカル消費

Q:「エシカル消費」ってなに？

A: 「エシカル」とは、倫理的という意味で、「人や社会、環境に配慮した消費行動」のことを「エシカル消費」といいます。具体的には、障害のある人の支援につながる商品、フェアトレード商品や売上げの一部が寄付される寄付付き商品、エコ商品・リサイクル商品、資源保護等に関する認証がある商品、被災地産品などの消費が例として挙げられます。

Q:わたしたちにはどう関係しているの？

A: 「消費」は、食べることや使うこと、買い物など、わたしたちの毎日の生活そのものです。衣食住という限られたものだけをとっても、そこで消費する衣服や食料、エネルギーは決して少なくありません。日々の生活の中で、わたしたち一人ひとりが人や社会、環境への関心を持ち、「エシカル消費」を意識することで、持続可能なより良い社会づくりを応援することができます。「エシカル消費」は、わたしたちが持っている「世界を変える力」といえます。



考えよう！
やってみよう！

SDGsアクション

- ☑食品ロスを少なくするためになにができるか考えて実行してみよう
- ☑エシカル消費を考えて買い物をしてみよう



目標12 愛知 ×SDGsアクション 名古屋フェアトレードマップ

NPO法人フェアトレード名古屋ネットワークでは、名古屋市と周辺市町にあるフェアトレード産品取扱店をGoogle Mapsにまとめて公開しています。買い物をする際に、ぜひチェックしてみてください。

- ホームページ: <https://www.ftnn.net/ftmap/>



13 気候変動に 具体的な対策を



どんな目標？

- 気候変動やその影響を減らすために、
いますぐ行動する

考えるためのキーワード

- 気候変動 ● 異常気象
- 平均海面水位の上昇



異常気象

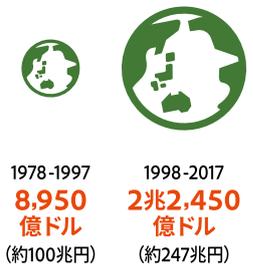
Q: 最近の異常気象は、地球温暖化と関係があるの？

A: 地球温暖化を主な原因とする気候変動の影響により、世界各地で異常気象が発生しています。熱波や寒波、大雨、日照不足、冷夏など地域によっては、人の命にかかわるような激しい気象変化を伴います。こうした気象の変化は、地球温暖化の進行とともに、さらに大きくなると予想されており、CO₂の排出を止めるとともに、農林水産業などの生産活動や都市の防災などをどのように適応させていくかが課題です。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 日本でも平均気温は長期的に上昇傾向(100年あたり1.24℃)にあり、猛暑日や1時間に50mmを超えるような局所的な降雨の回数も増えています。また、日本近海の海水温の上昇により、勢力の強い大型台風が日本列島を直撃するようになり、大きな被害が発生しています。各地の異常気象による被害をなくすためには、ライフスタイルの変革も含めた脱炭素社会をいかに実現するかにかかっています。

気候変動による 経済損失額



平均海面水位の上昇

Q: 海面水位の上昇の影響は南の島だけではないの？

A: 世界の海面水位の上昇が続いており、その原因には地球温暖化の進行により南極やグリーンランドの厚い氷が溶け出していることが指摘されています。海面水位の上昇が続けば、海岸の侵食、高潮・高波・異常潮位などの沿岸災害の激化、沿岸の湿地喪失などによる生態系への影響が考えられます。特に、海拔の低いサンゴ礁からなる太平洋の南の島々は、大きな影響を受けることが現実的な問題になってきています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 海面水位の平均が59cm上昇した場合、東京、伊勢、大阪の日本三大湾のゼロメートル地帯(海面水位より低い土地)の面積は、いまより約5割増えると予測されます。三大湾の海岸堤防は高潮を想定して設計されていますが、気候変動に伴う強い台風などで想定を超える高潮を受けると、沿岸部における浸水被害が増加するおそれがあります。



1901年→2010年
海面上昇
19cm



考えよう!
やってみよう!

SDGsアクション

- ☑ 温暖化を食い止めるにはどんなことができるかな
- ☑ 台風や高潮に遭った際の避難経路などを確認しておこう



目標13 愛知 ×SDGsアクション モリゾー・キッコロのエコチェック

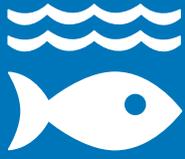
モリゾーとキッコロがテレビ・エアコンなど家電製品の省エネ方法や自動車のエコな使用方法など、家庭で身近にできるCO₂の削減方法について動画で紹介しています。

●動画リンク:

https://www.youtube.com/watch?time_continue=82&v=3xYo7HvsHNY&feature=emb_title



14 海の豊かさを 守ろう



どんな目標？

- 水産資源を守る
- 魚など水産資源を持続可能な方法で利用する

考えるためのキーワード

- 水産資源の減少
- 海のプラスチック
- マイクロプラスチック



水産資源の減少

Q: 将来に魚が獲れなくなる心配はないの？

A: 世界人口が70億人を超えて食料需要が増えていることや、人々の食生活が肉から魚へとヘルシー志向に移行することにより、水産資源の需要が増えています。一方で、乱獲や地球温暖化の影響で魚が獲れなくなっている事例も起きています。そのため、水産資源を将来にわたって持続的に利用するためにはどうすれば良いか、考えていかなければなりません。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 近年の海水温の上昇などによって、サケやサンマなどは急激に漁獲量が減少していますが、一方、ブリなどは漁獲量が増えています。このため、漁業者はその時々でたくさん獲れる魚を上手に利用できるよう努力しており、また、獲り過ぎを防ぐため、漁獲量の制限など資源管理にも取り組んでいます。わたしたちも購入した魚は残さず食べて、貴重な海の資源を大切に利用しましょう。



海のプラスチック問題

Q: クジラの胃からプラスチックごみ(プラスチック)が見つかったと聞いたよ

A: 「海のプラスチック問題」の1つに、生きものたちが海に漂うプラスチックを誤って食べ、衰弱したり死亡したりする事例があります。クジラもプラスチックを誤って食べてしまったものと考えられます。また最近では、光や波の作用により5mm以下まで細くなったプラスチック、いわゆるマイクロプラスチックも問題となっています。マイクロプラスチックは有害物質の吸着が指摘されており、これを取り込んだ海の生きものに悪い影響を与えることが心配されています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 「海のプラスチック問題」は、ポイ捨てされたものが海に流れ出るなど、わたしたちの行動と深く関わっています。環境中に流出したプラスチックは、分解し自然に還ることが困難で、長期間、環境に悪影響を及ぼします。ごみのポイ捨てはせずにルールに従い処分する、清掃活動に参加するなど、海のプラスチック削減に向け、一人ひとりが考え、行動することがとても重要です。



考えよう!
やってみよう!

SDGsアクション

- ✓ 水産資源を守るためにはどんなことができるかな
- ✓ プラごみを減らすためのアイデアを考えて実行してみよう



目標14 愛知 ×SDGsアクション ビーチクリーン活動

海岸に流れ着いた様々なごみをみんなで拾い集めるのがビーチクリーン活動です。ごみ拾いや環境イベントを紹介しているWEBサイト「BLUE SHIP」で近くのビーチクリーン活動を調べて参加してみましょう。

● ホームページ: <https://blueshipjapan.com/>



15 陸の豊かさも 守ろう



どんな目標？

- 陸の生物多様性を守る
- 森林を守る

考えるためのキーワード

- 生物多様性 ●絶滅危惧種
- 森林・林業



生物多様性保全

Q: 生物多様性保全ってなに？

A: 生きものは長い歴史の中で様々な進化を遂げ、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。生きものは、食物連鎖によりそれぞれが密接に関係し合い、支え合って生きています。こうした生きものの個性の豊かさとそのつながりを「生物多様性」といい、食料や清浄な大気を始め、わたしたちに必要な様々なものを供給しています。いま、その生物多様性が人間の活動によって大きく損なわれつつあり、日本では約3,700種に絶滅のおそれがあるとされています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 自然の場所をまちに変えればそれだけ生きものの住める場所が減り、空気や水を汚せば生きものが住みにくくなります。また、野外に放たれた外国の動植物などが昔からいた生きものを脅かしたりします。生物多様性を保全するためには、まずは自然を大切に思う気持ちで暮らし、生きもののことを学んだり、生物多様性に配慮してつくられた商品を選んだりすることが重要です。



森林・林業

Q: 森林を守るって大変なことだよな？

A: 日本の森林は国土の約7割を占め、戦後に植えられた人工林が利用期を迎えており、豊富な森林資源を循環利用することが重要な課題となっています。1960年代以降、木材の輸入拡大により国内の林業は厳しい状況が続いてきましたが、近年は活力を回復しつつあります。また、林業従事者は長期的には減少傾向にありますが、平均年齢は若返りの傾向にあります。森林を資源として活用するには、間伐などの手入れが必要であり、林業従事者の確保と育成が必要です。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 森林は、水を蓄え、多様な動植物のすみかとなり、気候変動の原因となるCO₂を吸収するなど、人にいろいろな恩恵を与えてくれる存在です。豊かな森はミネラルを蓄え、川を下って海の生きものともつながっています。豊かな森林を守るためには、国産材でつくられた製品を購入する、緑の募金に寄付するなどいろいろな方法があります。



考えよう！
やってみよう！

SDGsアクション

☑探鳥会や自然観察会に参加してみよう

☑エコラベル商品を購入してみよう



目標15 愛知 ×SDGsアクション とうえいの木の駅プロジェクト

東栄町の山を元気にしようという思いでスタートした「とうえいの木の駅プロジェクト」。間伐材の出材体験や薪割り体験など、山の恵みを体感できる体験イベントもあります。

●ホームページ: <https://www.toeinavi.jp/spots/detail/134/>



16 平和と公正を
すべての人に



どんな目標？

- ◎すべての人が法律の下で公正で、平和な社会に生きる

考えるためのキーワード

- ◎犯罪のないまちづくり



犯罪のないまちづくり

Q: 犯罪って増えているの？

A: 近年、犯罪の件数自体は減少傾向にありますが、特殊詐欺(オレオレ詐欺や還付金詐欺等)など高齢者を狙った被害が多発しています。また、スマートフォンの普及により若者が架空料金請求詐欺の被害に遭ったり、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)により性犯罪に巻き込まれるといった事例もあり、高齢者や若者などに対する啓発が重要になっています。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 犯罪を未然に防ぐためには日頃の防犯対策が必要になります。自治体などでは特殊詐欺の事例集を作成するなど啓発活動を行っています。特殊詐欺は複数人で行われたり、手口も巧妙になってきています。また、SNSを使った被害として、旅行中にSNSに投稿したことにより留守を知られ、空き巣被害に遭ったと思われる事例も発生しており、こういった行為が犯罪被害につながるのか良く考えて行動することが大切です。



刑法犯罪認知
件数

愛知県約 **5万件**

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



どんな目標？

- ◎SDGsの実現のためにいろいろな人と一緒に取り組む

考えるためのキーワード

- ◎パートナーシップ(協働)



協働のすすめ

Q: SDGsの17番目になぜパートナーシップがあるの？

A: SDGsにかかわる課題は、経済・社会・環境のいろいろな分野に及びます。また、それらは必ずつながり合っています。1つの課題を解決する場合にも、それに関連するものと一緒にはできないかを考えていく必要があります。SDGsは1人ではなく、いろいろな人や国、企業、地域など一緒になって取り組んでいくことをすすめています。17番目の目標は他のすべての目標に関わっているのです。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 例えば、食品のムダを減らすには、捨てる食品を減らすとともに、資源として循環させる方法もあります。製造工程や賞味期限、廃棄ロスや残飯などどうしても出てしまう食品ごみを製造業者、流通業者、小売店、ホテルなどが連携して回収、飼料として再生している取組があります。こうした取組は、1つの企業や個人だけでなく、再生飼料を受け入れる農家も含めた資源循環の協働の仕組みがあって初めて実現するものです。



考えよう!
やってみよう!

SDGsアクション

☑日頃の防犯対策としてなにができるか考えてみよう

☑SDGsで同じ思いや考えを持っている人と話をしてみよう

愛知県SDGs未来都市計画（第2期）

愛知県は、2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市（ ）」として選定されました。経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に一体的に取り組みながら、すべての県民の皆さんと一緒に持続可能な社会を目指しています。

※「SDGs未来都市」について

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。

2030年のあるべき姿



自治体SDGsの推進に資する取組

経済

革新的技術等の社会実装の推進
スタートアップによるイノベーションの創出
中小企業の持続的発展に向けた支援
イノベーションを生み出す人材の育成・確保

社会

若者の活躍促進
女性の活躍促進
高齢者の活躍促進
障害のある人の活躍促進
外国人の活躍促進

環境

「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進
EV・PHV・FCVの普及促進
循環型社会に向けた取組
自然との共生に向けた取組
行動する「人づくり」
環境面を主軸とした経済・社会・環境の三側面をつなぐ取組